

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係

事務事業 02748 環境保全協働推進事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	001	環境保全協働推進事業		
事業期間	平成 8年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	多くの市民が
目的	ごみ減量に関心を持ち、ごみ減量を協働で行えるようになります。
手段	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会の推進を図るため、ごみ減量推進委員会を開催し、ごみ減量施策の調査、検討、構築を行うとともに市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するため集団資源回収に対する報償金事業を実施します。
事務内容	ごみ減量推進委員会の設置、運用を行います。 住民説明会を開催し、周知をはかります。 集団資源回収報償金を支払います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	24,633	24,939	34,070
事業費	21,333	21,639	30,770
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,333	21,639	30,770
人件費計	3,300	3,300	3,300
正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	住民説明会等によるごみ減量、分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動	住民説明会等によるごみ減量、分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動	住民説明会等によるごみ減量、分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5年 8月15日
11時42分00秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02748 環境保全協働推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
住民説明会の参加人数	人	450.00 193.00	450.00 515.00	1,300.00 0.00
市民活動支援プログラムによる活動	回	20.00 21.00	20.00 21.00	20.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の事業主体が実施するものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	資源循環を目指し、団体による資源回収活動を支援しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍以前の状況に戻りつつあると考えられます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な事業展開を図るよう検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	多彩な支援プログラムを用意しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も個人の環境に対する意識を高められるように、今までの啓発活動を見直すとともに、新たな啓発活動を実施できるよう検討・実施に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
11時42分00秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係

事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	002	ごみ減量化推進事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	啓発を受けた市民・子ども達が広く
目的	ごみ減量を始めた環境保全に対して関心をもつようになり、ごみ排出量が削減されます。
手段	環境学習をする小学4年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量の必要性や環境教育のためのクリーンバス事業を実施するとともに、市民向けにはごみの発生抑制や分別の啓発、生ごみ処理機器の購入費用を補助し、ごみの減量と循環型社会への意識向上を図る環境保全啓発活動を実施します。
事務内容	市指定ごみ袋の発注作成と生ごみ処理機の購入補助を行います。 住民説明会、クリーンバス事業、広報などによるごみ減量及び環境教育、環境保全の啓発を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	128,258	158,680	219,920
事業費	123,638	154,060	215,300
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	115,708	131,459	170,236
一般財源	7,930	22,601	45,064
人件費計	4,620	4,620	4,620
正規（人）	0.70	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	広報等による減量啓発、住民説明会等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施	広報等による減量啓発、住民説明会等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施	広報等による減量啓発、住民説明会等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
住民説明会（街頭、店舗）等によるごみ減量啓発	回	8.00	8.00	40.00
		7.00	13.00	0.00
クリーンパスの実施	参加学校数	21.00	21.00	21.00
		4.00	21.00	0.00
乾燥生ごみ交換重量	k g	4,000.00	4,000.00	4,000.00
		4,162.00	4,101.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民のごみ減量に対する意識は維持されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍以前の状況に戻りつつあると考えられます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率が良くなるよう補助等の見直しを検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	継続して減量化の啓発を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ごみ減量化について、更なる市民協働の充実に努めるとともに、新たな事業展開を検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
11時42分00秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係

事務事業 02750 地域環境美化事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	005	環境学習及び環境配慮行動の促進と支援		
事務事業	003	地域環境美化事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	地域環境の美化のため、自主的に清掃活動に参加するようになります。
手段	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通じ、環境美化活動の啓発支援を行います。
事務内容	町内一斉清掃、アダプトプログラムの活動支援を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	6,614	7,214	8,343
事業費	2,654	3,254	4,383
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,654	3,254	4,383
人件費計	3,960	3,960	3,960
正規（人）	0.60	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	町内一斉清掃、アダプトプログラム、530運動などボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係
事務事業 02750 地域環境美化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
アダプト団体登録数	団体数	64.00 62.00	62.00 78.00	78.00 0.00
「町を美しくする運動」活動実施数	回	100.00 111.00	100.00 118.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境美化のための活動を各団体が積極的に行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により減少した活動回数の回復が見られます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な事業展開を図るよう検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	きめ細かい対応を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	現事業の内容、関連性を精査しつつ、事業の統廃合を含め、効率的な事業展開を検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02751 塵芥収集事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	003	塵芥収集事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを分別して出すことができますようになります。
手段	びん、缶、ペットボトル等の収集を直営業務とし、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック製容器包装（令和6年1月からはプラスチック資源）及び古紙古着の収集を委託業務としています。
事務内容	日常生活から出るごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）を収集しています。

【コスト】

（単位：千円）

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	661,863	673,851	684,513
事業費	516,663	525,351	536,013
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4,510	4,812	5,180
一般財源	512,153	520,539	530,833
人件費計	145,200	148,500	148,500
正規（人）	22.00	22.50	22.50
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ29,545t、不燃ごみ965t、プラスチック製容器包装1,288t、缶355t、びん1,270t、古紙・古着1,171tを収集しました。	可燃ごみ29,274t、不燃ごみ915t、プラスチック製容器包装1,300t、缶397t、びん1,240t、古紙・古着1,106tを収集します。	可燃ごみ29,300t、不燃ごみ1,000t、プラスチック製容器包装966t、プラスチック資源390t、缶400t、びん1,300t、古紙・古着1,200tを収集します。

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 38 分 07 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02751 塵芥収集事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
容器包装プラスチックごみの資源化率	%	95.00 96.66	95.00 94.38	95.00 0.00
プラスチック資源の資源化率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	91.15 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	廃掃法に規定された市の責務を履行します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	家庭ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を下回っているため、ごみの分別を働きかけます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	収集区域の再編などごみの効率的な回収について検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	先進的な取り組みを行い、利便性の向上に取り組んでいます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	法令により一般廃棄物の処理責任は市に課されており、合理化と効率化を念頭に、着実に遂行します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	004	不法投棄対策事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できます。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施します。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器及び自動車のタイヤ等を処理します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	5,323	5,912	8,597
事業費	4,003	4,592	5,957
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	803	669	915
一般財源	3,200	3,923	5,042
人件費計	1,320	1,320	2,640
正規（人）	0.20	0.20	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	監視カメラ16台を6ヶ月単位で設置を希望する町内会に貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めました。	監視カメラ16台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めました。	監視カメラ16台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事案抑制に努めます。

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02752 不法投棄対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
家電 5 品目の不法投棄 台数 (指定引取場所搬 入台数)	台	150.00 129.00	150.00 82.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公共用地の管理責任に基づいて行います。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	良好な地域環境の維持と不法投棄抑止に寄与します。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	抑止効果が認められますが、新たな不法投棄も発生しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	町内会との連携強化に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	不法投棄に対し、適正な措置を講じています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 一般廃棄物の処理責任は法令により市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に遂行します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	005	資源再生化事業（中間処理等事業）		
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック製容器包装はごみステーションで収集し安城プラスチックリサイクルセンターで、それぞれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイクル事業者により資源化しています。令和6年1月からはプラスチック資源を中間処理し、同様に資源化します。
事務内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。令和6年1月からはプラスチック製容器包装とその他のプラスチック製品をプラスチック資源として一括で資源化します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	102,081	103,503	121,918
事業費	99,441	101,523	117,298
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	9,515	19,182	22,001
一般財源	89,926	82,341	95,297
人件費計	2,640	1,980	4,620
正規（人）	0.40	0.30	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル483t、容器包装プラごみ1,288tを収集、再生処理しました。	ペットボトル498t、容器包装プラごみ1,300tを収集、再生処理しました。	ペットボトル500t、令和5年12月までは容器包装プラごみ966t、令和6年1月からはプラスチック資源390tを収集、再生処理をします。

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
ペットボトルの選別処理量	t	450.00	490.00	450.00
		483.00	498.00	0.00
容器包装プラスチックの圧縮梱包処理量	t	1,250.00	1,280.00	966.00
		1,288.00	1,300.00	0.00
プラスチック資源の圧縮梱包処理量	t	0.00	0.00	390.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	廃掃法、関係リサイクル法に指定された市の責務を履行します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ペットボトル、プラスチック製容器包装の収集量が増加しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	資源の売却先など、経済性と適正処分の確保を心がけています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体との情報交換などに努め、適正水準を確保しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ペットボトル、容器包装プラスチック共に収集量は増加しています。また、プラスチック資源一括回収の開始によりさらに資源ごみのリサイクルを推進し、環境負荷を軽減できるため、持続可能な循環型社会の構築にさらに貢献できるものと考えています。今後も、市民の参加協力が得られるよう積極的にPRし、利便性を向上させる必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係

事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	006	リサイクルプラザ施設管理事業		
事業期間	平成10年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを適正に処理することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破砕処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	452,611	416,438	484,386
事業費	429,511	401,918	470,526
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	20,836	36,723	44,727
一般財源	408,675	365,195	425,799
人件費計	23,100	14,520	13,860
正規（人）	3.50	2.20	2.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,746t びん・缶1,681tを破砕・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,570t びん・缶1,637tを破砕・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,600t びん・缶1,700tを破砕・減容、分別し中間処理を行います。

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	廃掃法、各リサイクル法に規定された市の責務を履行します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	昨年に引き続き、事後対応の必要な苦情はありませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	合理性、経済性に留意しつつ、施設の維持管理に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	ごみの搬入量に対して、処理能力の不足は認められません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築には、ごみ減量化、資源再生の取り組みは欠かせないものであり、リサイクルプラザの役割は重要であると認識しています。 ただし、経済性や効率性、省エネルギー化や安定処理の観点も踏まえて、施設の維持管理を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	007	せん定枝リサイクルプラント事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉碎し、醗酵たい肥化を行います。
事務内容	せん定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためにたい肥を製造して市民等に配布します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	74,952	94,082	95,661
事業費	53,832	80,882	83,121
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	8,023	8,882	9,600
一般財源	45,809	72,000	73,521
人件費計	21,120	13,200	12,540
正規（人）	3.20	2.00	1.90
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	せん定枝1,070tを処理、たい肥832tを配布しました。	せん定枝1,130tを処理、たい肥782tを配布しました。	せん定枝1,200tを処理、たい肥800tを配布します。

事務事業評価シート（2/2）

10頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
剪定枝葉処理量	t	1,150.00 1,070.00	1,150.00 1,130.00	1,150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内外の民間業者へ処理委託する手法もあります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	たい肥の配布希望者が多く、常に抽選が必要な状況です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	処理量は増加しましたが、目標値には届きませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	合理性、経済性に配慮しつつ、適正な維持管理に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	周辺自治体では取組みの少ない特色のある事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築には、バイオマス技術を活用した資源化は欠かせないものであると認識しています。 ただし、事業の実施にあたっては経済性、効率性、省エネルギー化の観点との整合を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02756 最終処分場事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	008	最終処分場事業		
事業期間	平成21年度～令和11年度	21	年間	
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破碎した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ（不燃残渣）の処分場です。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	72,559	40,680	53,033
事業費	65,959	34,080	48,413
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	65,959	34,080	48,413
人件費計	6,600	6,600	4,620
正規（人）	1.00	1.00	0.70
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	533t（容量換算666m ³ ）の不燃残さを埋立処分しました。藤井の一般廃棄物最終処分場の農地復旧工事を行い、土地所有者に返還しました。	577t（容量換算721m ³ ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入見込み量600t（容量換算750m ³ ）の不燃残さを埋立処分します。

事務事業評価シート (2 / 2)

12 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 38 分 07 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02756 最終処分場事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
最終処分場埋立量	t	650.00 533.00	605.00 577.00	600.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市域を越えて最終処分場を求めることは極めて困難です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	中間処理残さは、一般家庭の排出ごみから発生します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	再資源化の促進により、埋立量の抑制が図られています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	埋立処分場の新設は困難であるため、長期供用に努めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	当面必要となる最終処分場を供用しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新たな埋立処分場の設置は困難な状況であるため、今後も埋立量を抑制し長期間の供用を進めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和 5年 8月15日
11時38分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係

事務事業 02757 資源リサイクル事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	009	資源リサイクル事業		
事業期間	平成14年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内5箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバー人材センターに業務委託を行い、市民の利便性に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	33,419	67,723	46,329
事業費	28,799	61,123	39,729
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,168	2,955	5,200
一般財源	25,631	58,168	34,529
人件費計	4,620	6,600	6,600
正規（人）	0.70	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーション資源回収量2,684t、古紙・古着資源ステーション収集量1,171tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,505t、古紙・古着資源ステーション収集量1,106tをリサイクルしました。10月に篠目リサイクルステーションを開設しました。	リサイクルステーション資源回収量2,900t、古紙・古着資源ステーション収集量1,200tをリサイクルします。

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係
事務事業 02757 資源リサイクル事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
リサイクルステーションの回収量	t	2,756.00 2,684.00	2,900.00 2,505.00	2,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民主体の資源循環の取組を可視化できます。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	簡便で、利用日の制約がほぼありません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新聞発行数減少や電子書籍化等により古紙搬入量が減少しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用促進のため利便性の向上、周知に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較し、利便性は十分に確保できています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本市のこれまでの取り組みにより、市民のリサイクルに対する意識が向上しています。市民のニーズを把握し、引き続き更なる利便性の向上を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	010	ごみ焼却施設管理事業		
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	可燃ごみを安心して処理できるようにするため
手段	ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や計画的な工事を実施することで施設の健全性を維持します。
事務内容	収集などにより搬入された可燃ごみを適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,324,914	1,393,144	1,497,034
事業費	1,299,174	1,374,004	1,477,894
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	161,799	165,751	156,000
一般財源	1,137,375	1,208,253	1,321,894
人件費計	25,740	19,140	19,140
正規（人）	3.90	2.90	2.90
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ50,441tを焼却処理しました。	可燃ごみ51,575tを焼却処理しました。	可燃ごみ51,860tを焼却処理します。

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
施設の故障による可燃ごみ搬入停止	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
法規制値を超える排気ガスの排出	回	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ごみ焼却施設は、市民生活に必要な事業です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	施設は故障もなく順調に稼働しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	維持管理を委託し、整備計画など随時見直しを図っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体を参考に適切な時期に施設整備を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和4年度も指標目標を達成することができました。 今後も適切な保守管理及び計画的な工事を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進		
事務事業	011	ごみ焼却灰処分事業		
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ごみ焼却灰溶融化事業			

【事業分析】

対象	市が
目的	処分先の環境を阻害することなく、安定的に焼却灰を処理できるようにするため
手段	本市は、焼却灰の最終処分場を所有していないことから、発生した焼却灰全てを市外に運搬・処分しています。処分先としましては、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）や民間の最終処分事業者です。また、焼却灰の一部については再資源化処理としています。
事務内容	処分場を所管している相手方自治体と調和の協議を行い、安全かつ適正に処理を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	176,787	186,585	213,545
事業費	173,487	183,945	210,905
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	173,487	183,945	210,905
人件費計	3,300	2,640	2,640
正規（人）	0.50	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・アセック埋立量 3,658.55 t ・その他民間埋立量 398.76 t ・再資源化量 2,374.53 t	・アセック埋立量 3,861.22 t ・その他民間埋立量 398.16 t ・再資源化量 2,369.59 t	予定量 ・アセック埋立量 4,000 t ・その他民間埋立量 400 t ・再資源化量 2,400 t

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02759 ごみ焼却灰処理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
焼却灰の処分先	箇所	5.00	6.00	5.00
		5.00	6.00	0.00
焼却灰の資源化率	%	30.45	30.45	35.29
		36.92	35.75	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	焼却後に発生する焼却灰は適正に処分する必要があります。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	焼却灰の処分先を持たない自治体の市民にとって必要な事業です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	適正に灰処分を行い、リサイクル率の向上に努めています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	リスク分散などの観点から処分先の確保が行えています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	独自の埋立処分場を持たない近隣市と同等水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	災害時のリスク分散を考えて処分先や再資源化先を検討し、箇所数や資源化率の向上に努めてきました。令和4年度も指標目標を達成することができました。 今後は、検討してきた処分先の安定的な量、期間など受入れ確保について調整を図って行きます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	012	し尿処理施設管理事業			
事業期間	昭和63年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	し尿汚泥、浄化槽汚泥を安心して処理できるようにするため
手段	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や施設整備を実施することで、施設の健全性を維持します。
事務内容	収集搬入された生し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	108,787	143,065	190,461
事業費	103,507	137,785	184,521
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	103,507	137,785	184,521
人件費計	5,280	5,280	5,940
正規（人）	0.80	0.80	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	生し尿1,467KL、浄化槽汚泥29,459KL、農業集落排水汚泥841KLを処理しました。	生し尿1,410KL、浄化槽汚泥27,650KL、農業集落排水汚泥781KLを処理しました。	生し尿1,353KL、浄化槽汚泥28,861KL、農業集落排水汚泥842KLを処理します。

事務事業評価シート (2 / 2)

6 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 42 分 47 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
施設の故障によるし尿・浄化槽汚泥搬入停止	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
法条例規制値を超える放流水の排出	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	し尿処理は、市民生活に必要な事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	施設は、故障もなく順調に稼働しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	維持管理を委託し、整備計画など随時見直しを図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較しても同水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和4年度も指標目標を達成できました。 今後も適切な保守点検や施設整備を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	004	資源循環とごみ減量の推進			
事務事業	025	廃棄物処理施設整備事業			
事業期間	平成31年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成31年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 ・（旧称）ごみ焼却施設等整備事業 ・（改名）廃棄物処理施設整備事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	将来的に安心して廃棄物を処理できるようにするため
手段	老朽化する廃棄物処理施設を安定的に移働できるよう施設整備を進めます。
事務内容	施設整備に必要な各種計画の策定及び施設整備を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	52,338	23,639	42,284
事業費	45,738	15,719	27,104
国庫支出金	0	0	4,766
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	45,738	15,719	22,338
人件費計	6,600	7,920	15,180
正規（人）	1.00	1.20	2.30
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	廃棄物処理各施設の整備計画の策定や一般廃棄物処理基本計画等の策定に着手しました。	廃棄物処理各施設の整備計画の策定や一般廃棄物処理基本計画等の策定をしました。	長期包括契約による基幹的設備改良工事に向けた施設整備基本計画素案や発注実施方針案などを策定します。

事務事業評価シート（2/2）

8頁
令和 5年 8月15日
11時42分47秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設係
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
一般廃棄物処理基本計画等の各施設整備計画の策定（進捗率）	%	74.42	100.00	0.00
		74.42	100.00	0.00
ごみ焼却施設整備基本計画等の策定（進捗率）	%	0.00	0.00	76.59
		0.00	0.00	0.00
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事発注支援事業（進捗率）	%	0.00	0.00	7.55
		0.00	0.00	0.00
ごみ焼却施設生活環境影響調査（進捗率）	%	0.00	0.00	4.04
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	廃清法で廃棄物処理施設は、市が設置することとなっています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民生活において廃棄物処理は重要な事業です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画的に事業を進めています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	業務を委託し、効率を図っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体を参考に適切な時期に施設整備を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	廃棄物処理施設の老朽化に伴い、将来の施設整備に向けた具体的な検討や整理が必要であります。令和4年度は不燃ごみ破碎処理施設等整備基本計画を策定することができました。また、一般廃棄物処理基本計画及び循環型社会形成推進地域計画を策定したことにより、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事に係る交付金制度の活用を見込むことができました。 今後は、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事に関わる計画、調査等を計画どおり進めて行きます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。